

フェアトレードへの参加のご案内

児童労働や貧困を根本から解決する「仕組み」

私たちが日頃、色々な商品を手軽に買うことができる背景に
開発途上で原料をつくる人たちの貧困や
児童労働、環境破壊が起きている場合があります

そのような状況を生み出さないよう
適正な取引・ビジネスを行うことで
途上国の自立支援をする仕組みがフェアトレード

国際フェアトレード認証ラベル

が表示された製品を購入することで
個人・法人はフェアトレードを支援することができます



国際フェアトレード認証ラベル
このラベル付き製品を買うことで、
フェアトレードを支援できます

フェアトレードの“今”



フェアトレード認証製品市場は
世界で年間**1兆円規模**にまで広がり
生産者の生活を支えています
✓ **6,100社**以上の企業が参加
✓ **160万人**の生産者・労働者が参加

日本のフェアトレード製品消費はまだ少なく
世界市場の約1%の規模
欧米に大きく遅れています
東京五輪の調達基準への採用も踏まえ
今後大きく成長すると考えられます



世界的な社会貢献の仕組みに、貴方のご所属企業も参加しませんか



One cup of coffee
sends the children to school and
sends them to the clinic-----

「たった一杯のコーヒーが
子ども達が教育や医療を受けられることに繋がるのです」
(エチオピア・コーヒー生産者の声)



「いつもの消費を入れ替える
ただそれだけで変えられる世界があると知りました
慈善事業を超えた
この社会貢献型ビジネスを支援していきたい」
(日本・フェアトレード参加企業の声)

具体的な参加方法と企業のメリット

【フェアトレードが貢献する開発目標】



【企業の取り組み一覧】



SDGsへの貢献

✓ フェアトレードは、SDGs(国連の持続可能な開発目標)の8つもの目標達成に貢献

コストパフォーマンスの高いCSR

✓ 社内販売会の実施は一人でも多くの社員を巻き込み、社員参加・交流・学習型のCSRも期待できる

社員の意識向上

✓ 社員が社会課題や自社のサプライチェーン上の問題にも意識を向ける契機となる

フェアトレード社内販売会を企画してみませんか

➤ フェアトレード社内販売会とは？

- ✓ **WHAT(なに)**: フェアトレード製品の社員向け販売イベント
- ✓ **WHEN(いつ)**: 昼休みの時間など
- ✓ **WHERE(どこで)**: 社内スペース(会議室、フリースペース、売店等)
- ✓ **WHO(だれが)**: 誰でも企画できます！



1 社内販売会実施にあたり...

- ✓ まずは、社内相談！(同僚、総務・CSR担当の人など)
- ✓ 時期、場所、費用や販売員の工夫等を検討しましょう。

2 フェアトレード商品の販売事業の方と相談

- ✓ コーヒー・紅茶・チョコレート...どんな商品があるのでしょうか？
- ✓ 事業者の方に、思い切った相談してみましょう。(日程、場所、商品ラインナップ、搬入方法、試食の実施有無など)

3 集客方法を考えましょう

- ✓ 社内告知の方法は様々ですね。社内回覧？ポスター？掲示物？社内メーリングリスト？
- ✓ 管理職の方や上司、同僚、後輩みんなに「声かけ」して、誘いましょう！

4 当日運営

- ✓ 搬入／セッティング／販売／片付けサポート
- ✓ (必要であれば) 売れ残りの返送

社内販売会の進め方

フェアトレード社内販売会 実施企業の声

企業例① デロイトトーマツコンサルティング合同会社 **Deloitte.**

Q. どのようにして実施しましたか？

昼休み前後2時間に、社内のフリースペースでチョコレート、コーヒー、リップクリーム、カレー等の販売会を行いました。準備は想像よりも簡単にでき、コストは試食用の食品代(2,000円程)のみでした。事業者の方が販売応援にきて下さり助かりました。



Q. 社員の方の反響はどうでしたか？

当日は商品が完売しました！社内メディアにも取り上げられ、その後グループ会社で同じ企画を実施しました。現在は、社内カフェへのフェアトレードコーヒー導入を視野に、取組みを進めています。社員にとって、楽しみつつ社会問題を考える、良い機会になっています。

Q. 販売会成功の秘訣は？

事前の社内広報をきちんと行ったことですね。小さなポスターを社内掲示板に貼ったり、社内メーリングリストに告知を流すことで、かなり多くの社員に知ってもらえました。

企業例② コニカミノルタジャパン株式会社 **KONICA MINOLTA**

Q. どのようにして実施しましたか？

5月のフェアトレード月間に、浜松町にある本社内のカフェで、フェアトレードの原材料を使用したスイーツを販売しました。カフェの創設以来4年間続けています。決まった個数を期間限定で販売することでイベント感を出し、注目度がアップするよう工夫しています。異動者も多いことから、イベントの告知と同時に、フェアトレードとは何か、毎年説明しています。

Q. どのようなメリットを感じましたか

もともと社内のカフェで扱っているコーヒーなどはフェアトレードの豆を使用していますが、毎年イベントを実施することで、認知度がアップしていると考えています。

Q. 企業で動く方にメッセージ

大きな費用をかけずに大勢の社員を巻き込むことができる活動だと思います。複数の会社が協力しあえば、より大きな活動にもできます。

- フェアトレード・ラベル・ジャパンは、「フェアトレード商品の販売事業」を行っていません。社内販売会を実施する場合、フェアトレード商品を取り扱う事業者の方々へ直接ご相談いただけます。取扱い事業者については、こちらをご覧ください。https://www.fairtrade-jp.org/get_involved/workplace.php



フェアトレード・ラベル・ジャパンについて



認定NPO法人 フェアトレードラベルジャパン
東京都中央区日本橋富沢町11-6 英守東京ビル3階
TEL: 03-5652-4846

- 国際フェアトレードラベル機構 (Fairtrade International) の構成メンバーとして、日本国内において次の役割を担う
 - ・ 国際フェアトレード認証ラベルのライセンス・製品認証事業
 - ・ フェアトレードの教育・普及啓発活動 等

日本国内のフェアトレード認証製品市場規模は年々拡大しており、現在200以上の事業者が、認証原料の輸入や製造、販売などで、国際フェアトレード認証に参加しています。トレーサビリティが確保され、持続可能性に資する取組として、2020年東京オリンピック・パラリンピックの調達基準でも正式に国際フェアトレード認証が承認されています。

- 認証取得にご関心のある方はこちらからお気軽にお問合せください。
<https://www.fairtrade-jp.org/license/>

フェアトレード・ラベル・ジャパンでは、活動全体を応援いただき、共にビジョン実現を目指すサポーターを募集しています。より多くの方々にフェアトレードを広げていけるよう、ぜひご協力をお願いいたします。

詳細はこちらから ⇒ https://www.fairtrade-jp.org/supporter_1/

